

新生銀行 統合報告書

2017年4月1日～2018年3月31日

2018

Who We Are?

新生銀行グループとは



- 4 グループ事業紹介
- 6 ハイライト
- 8 金融イノベーターであり続けるための価値創造モデル
- 10 新生銀行グループの進化
- 12 主なできごと



新生銀行グループとは

新生銀行グループは
どこを指すのか

新生銀行グループの成長戦略

新生銀行グループの
事業の状況


新生銀行グループの基礎


財務・データ


資料編


グループ事業紹介

新生銀行

 **新生フィナンシャル**
(個人向け無担保ローン、信用保証)

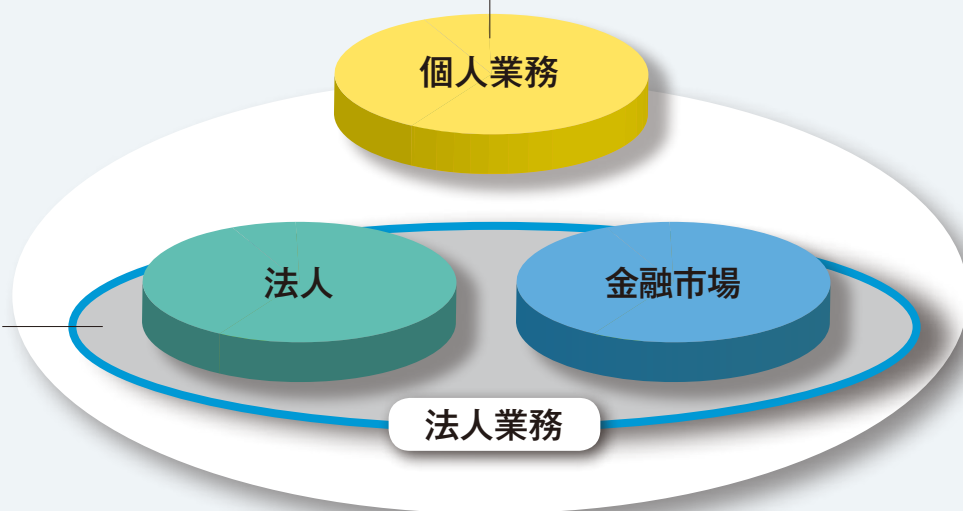
 **新生パーソナルローン**
(個人向け無担保ローン)


 **アプラスフィナンシャル**
(信販/クレジット)


 **全日信販**
(信販/クレジット)


リテールバンキング業務、個人向け無担保ローン業務、クレジットカード・ショッピングクレジット・決済業務など、個人のお客さま向け金融商品販売・サービスを行っています。


事業法人・金融法人にソリューションを提供する業務、ストラクチャードファイナンス業務、プライベートエクイティ投資や事業承継金融などを行う業務、リース業務などを行っています。金融市場業務は、外国為替・金利デリバティブなどの市場ソリューションを提供する市場営業業務などを行っています。




 **新生信託銀行**
(信託業務)


 **昭和リース**
(リース業務)


 **新生企業投資**
(投資業務)

 **新生インベストメント & ファイナンス**
(金融業務)

アルファ債権回収
(サービサー業務)

 **新生証券**
(証券業務)

 **新生インベストメント・マネジメント**
(資産運用業務)

 **新生インターナショナル**
(証券業務)

ハイライト

2018 HIGHLIGHTS



非財務情報

タウンホールミーティング開催件数
(2017年度)

26回



新生銀行グループでは、経営陣と従業員の対話型集会を定期的に行い、経営戦略や中長期ビジョンなどに対するグループ内の理解深掘りに努めています。

取締役会における社外取締役比率

71%



新生銀行の取締役7名のうち、過半数の5名が社外取締役です。取締役会の過半数を社外取締役とする体制は、新生銀行スタート時から継続しています。

MoneyConnection® 累計受講生徒数

12万人



新生銀行グループでは、若年層の無業化予防のための金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」の普及、拡大に積極的に取り組んでいます。

社外取締役における企業経営経験者数

80%



新生銀行の社外取締役5名のうち4名が企業経営経験者です。社外取締役は事業における豊富な経験や高い専門知識を有するメンバーで構成されています。

再生可能エネルギー
(太陽光、風力、バイオマス発電)

91%



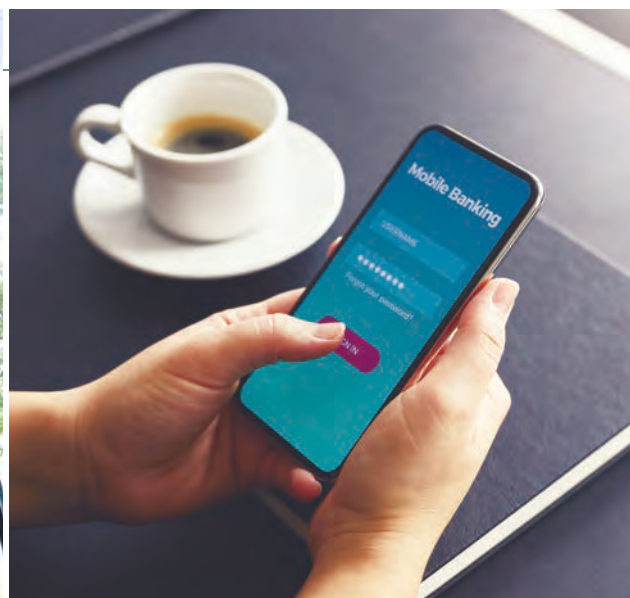
2018年3月末の国内プロジェクトファイナンス残高のうち、再生可能エネルギー案件(太陽光、風力、バイオマス発電)は91%を占めています。

女性管理職比率(2018年3月末)

30%



2020年度には新生銀行の管理職(係長級以上)に占める女性社員の比率を35%とする目標を掲げています。



新生銀行グループとは

新生銀行グループは
どこを指すのか

新生銀行グループの成長戦略

新生銀行グループの
事業の状況

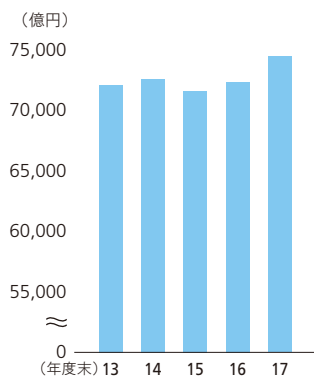
新生銀行グループの
基盤

財務・データ

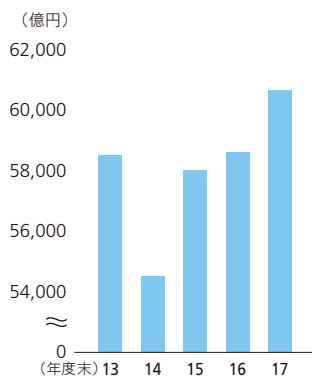
資料編

財務情報

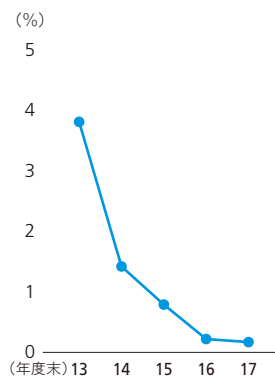
営業性資産



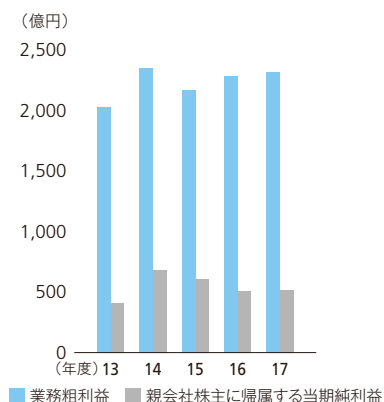
預金残高



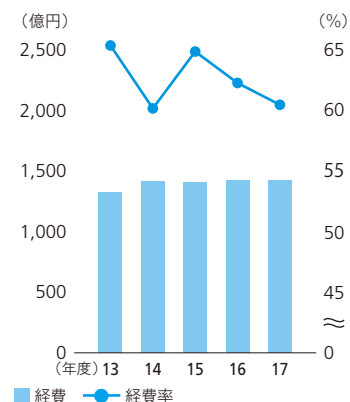
金融再生法に基づく不良債権比率 (単体)



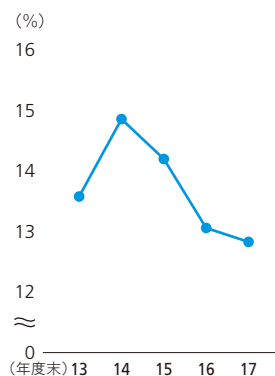
業務粗利益/ 親会社株主に帰属する当期純利益



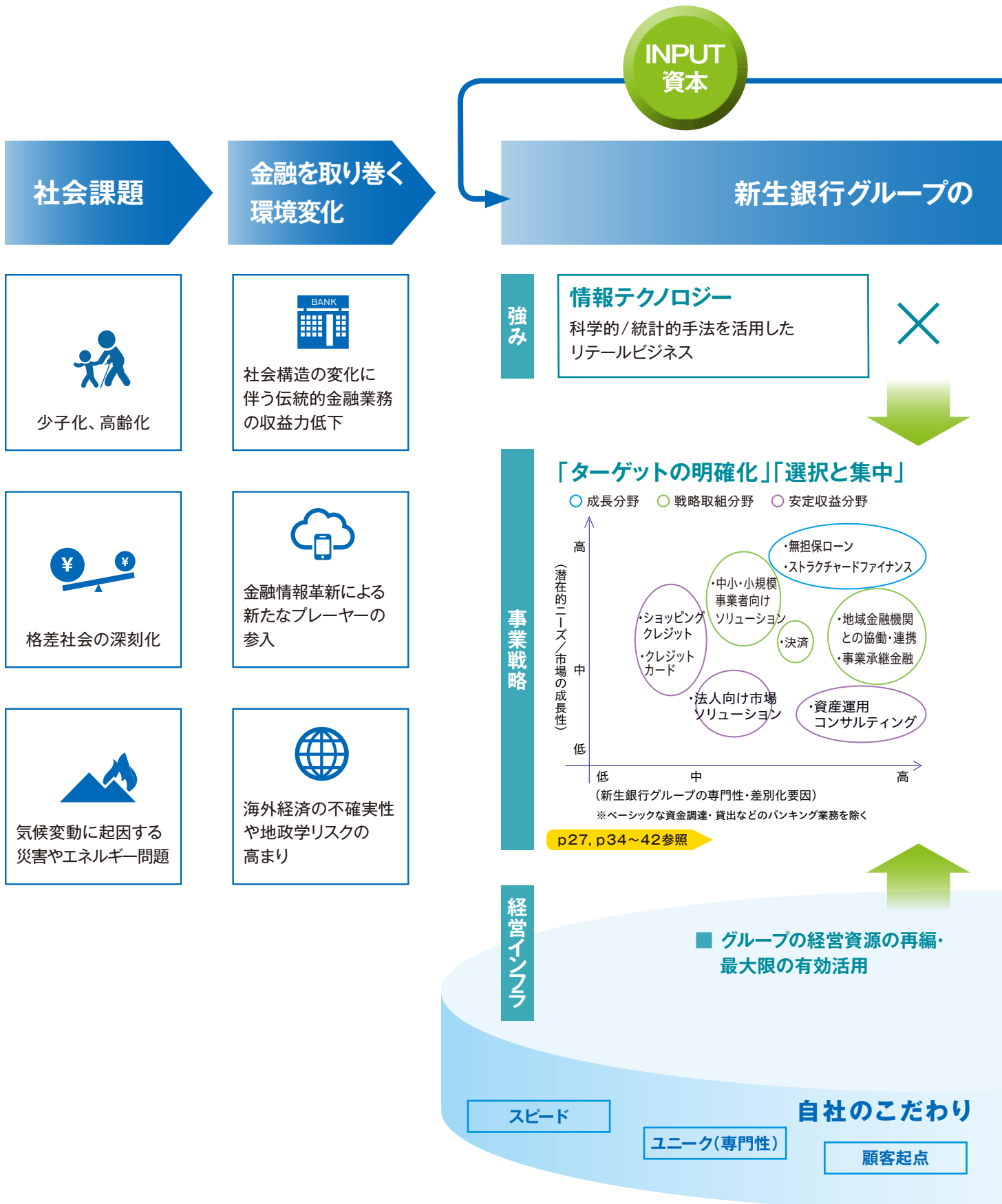
経費/ 経費率(経営管理ベース)



連結自己資本比率 (バーゼルⅢ、国内基準)



金融イノベーターであり続けるための価値創造モデル



新生銀行グループのありたい姿

世の中の変化から生ずる実需に基づき、ニッチ分野を継続的に創出し、対象となるお客さまへ新生銀行グループならではの商品・サービスを提供してまいります。

価値創造プロセス

金融テクノロジー

テーラーメイドサービスによる
付加価値の高い金融サービス

G

中期的価値向上を目指した
ガバナンスのさらなる強化

S

グループの持続的成長を支える
人材の開発、成長

E

本業を通じた環境課題への
取り組み

p44~79参照

創出する価値

OUTPUT
資本



財務資本

サステナブルな利益

p22~24, p80~85参照



人的・知的資本

世の中の変化から生
ずる実需へのソリュー
ション提供

p46~47, p64~65参照



社会関係資本

企業活動を通じた社会
課題へのアプローチ

p67~71参照

経営基盤

■ 強固なグループガバナンス

p28参照

機能別ビジネス

グループ本社機能

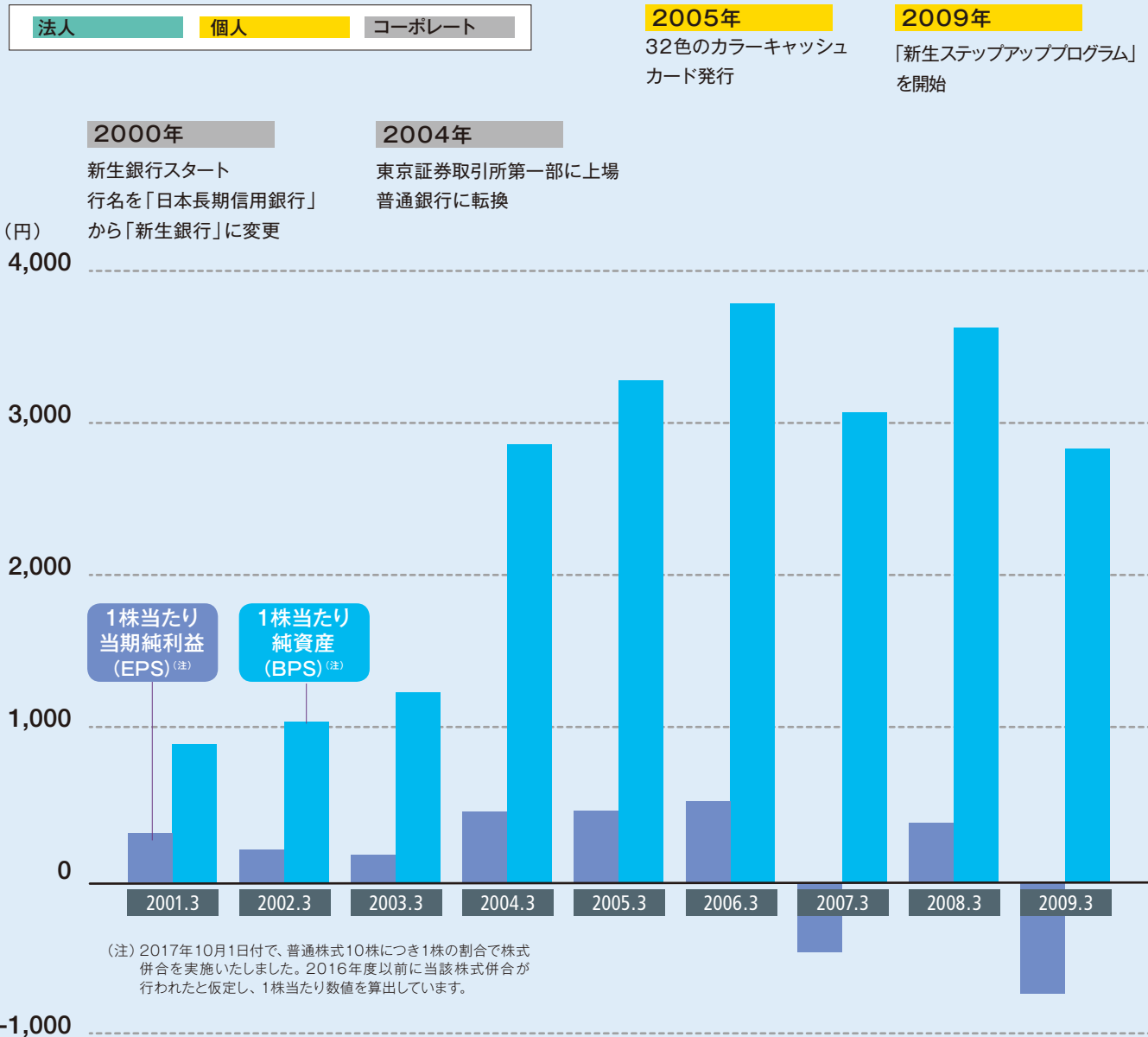
グループガバナンス

・背景

創発力(先進性)

個性尊重(多様性)

新生銀行グループの進化



2000年

新生銀行スタート
行名を「日本長期信用銀行」
から「新生銀行」に変更

2004年

東京証券取引所第一部に上場
普通銀行に転換

2005年

32色のカラーキャッシュ
カード発行

2009年

「新生ステップアッププログラム」
を開始

2001年

新生証券株式会社開業  新生証券

2003年

新生インベストメント・マネジメント株式会社開業

 新生インベストメント・マネジメント

2004年

株式会社アプラス(現 株式会社アプラスフィナンシャル)
を連結子会社化


 アプラスフィナンシャル

2005年

昭和リース株式会社を連結子会社化  昭和リース

2007年

シンキ株式会社(現 新生パーソナルローン株式会社)を連結子会社化

 新生パーソナルローン

2008年

GEコンシューマー・ファイナンス(現 新生フィナンシャル株式会社)
を連結子会社化

 新生フィナンシャル

2010年

第一次中期経営計画スタート
監査役会設置会社へ移行

2012年

「新生銀行 パワースmart住宅
ローン(安心パック)」が新登場

2012年

東日本大震災復興従事者向け
宿泊施設建設プロジェクトに
対するノンリコースローンの提供

2013年

第二次中期経営計画スタート

2015年

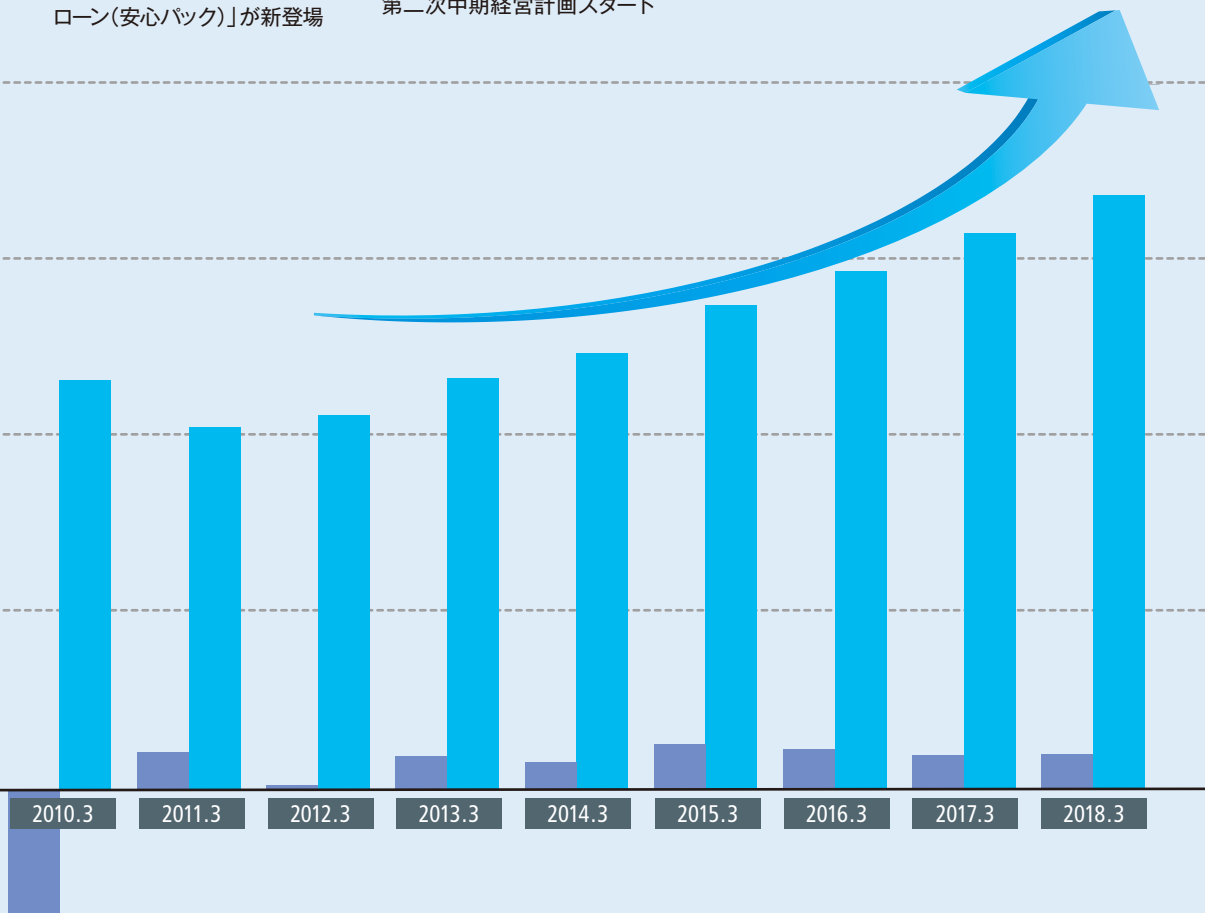
「新生銀行 スマートカードローン
プラス」の取り扱いを開始

2016年

第三次中期経営計画スタート

2017年

新生銀行グループ本社設置
自己株式取得を発表
株式併合(10株を1株に併合)
「顧客本位の業務運営に関する取組
方針」策定



第一次中期経営計画

第二次中期経営計画

第三次中期経営計画

2016年

新生フィナンシャル株式会社が人工知能活用のための
フィンテック合弁会社(セカンドサイト株式会社)を設立
新生フィナンシャル株式会社がベトナムでの個人向け
無担保ローン事業へ進出
株式会社アプラスが中国人向け決済サービス「WeChat
Pay」の日本での決済代行サービスへ参入

2016年

昭和リース株式会社を完全子会社化

2017年

新生プリンシパルインベストメントグループの再編

2018年

新生フィナンシャル株式会社が無担保ローン
新商品「レイクALSA」(レイクアルサ)の取り扱い
を開始

レイクALSA

主なできごと

- 2017.4 ● 山形県酒田市におけるメガソーラー事業向けプロジェクトファイナンスの組成 **成長分野**
新生銀行グループ本社設置
- 2017.5 ● フェムトグロス2号ファンドの設立
- 2017.6 ● 「顧客本位の業務運営に関する取組方針」と「アクションプラン」を策定
- 2017.7 ● AMP Solar Group Japanのメガソーラー事業取得に対するプロジェクトファイナンスの組成 **成長分野**
- 
- 2017.8 ● 2017年度JCSI（日本版顧客満足度指数）第2回調査「銀行部門」での顧客満足1位を獲得
- 2017.9 ● 子育て支援ファンドによる株式会社ウィズダムアカデミーへの投資実行
- 
- 茨城県神栖市における木質バイオマス発電事業向けプロジェクトファイナンスの組成 **成長分野**
- 2017.10 ● カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人に対するシンジケートローン組成 **成長分野**
ロボアドバイザーによる個人向け資産運用サービスを開始 **安定収益分野**
- 2017.11 ● Exchange Corporation Holdings Limitedへ出資 **戦略取組分野**
アプラスと昭和リースが連携し、個人のお客さま向けオートリース事業を開始
- 2017.12 ● 無担保ローン事業戦略の見直し **成長分野**
ランサーズ株式会社と資本業務提携を合意
- 2018.1 ● 自己株式の取得を決定
- 2018.2 ● 「グループ女性活躍推進委員会」を設置
- 2018.3 ● グループ統合顧客データベース「YUI Platform」（ユイ プラットフォーム）の構築を公表
- 2018.4 ● 新たな無担保ローン商品「レイクALSA」の取り扱いを開始 **成長分野**
- 2018.5 ● 自己株式の取得を決定
株式会社グローバルトラストネットワークスと資本業務提携契約を締結